

ゆりはま 議会だより

Vol. 73

令和4年5月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会

令和4年度のおもな事業	2
議会が注目！ピックアップ事業	12
一般質問	13
「行政、議会に対するご意見、ご提案」	18

「元気にかえってきてね」
サケの稚魚放流(とうごうこども園)

おもな事業

3月定例会は、4日から17日までの19日間の会期で行われ、令和4年度予算は予算特別委員会を設置して審査を行いました。

令和4年度予算をはじめ、補正予算、条例改正、人事案件など50議案を審議し、すべて原案どおり可決及び同意しました。

また、議員提出議案3件も、原案どおり可決しました。



遺跡発掘等調査事業費

羽衣石城跡等の発掘調査を行い、国史跡指定に向けて、文化財の価値付けをする。

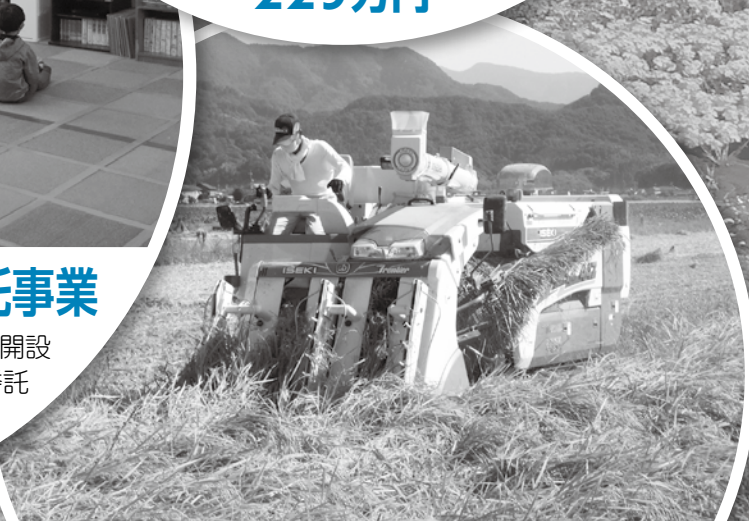
229万円



湯梨浜町放課後児童クラブ委託事業

仕事と子育ての両立支援のため、町内5カ所で開設している放課後児童クラブの運営を民間に委託する（関連記事は11、12、16ページ）。

5486万円



米価下落対策給付金事業

新型コロナウイルス感染の影響による米価下落に伴い、米の生産者に収入減少の一部を支援する（関連記事は7ページ）。

660万円

令和4年度の



証明書コンビニ交付事業

マイナンバーカードを利用して、住民票や印鑑証明などの証明書類を全国のコンビニエンスストアで発行できる環境を整備する。

399万円



湯梨浜みんなのげんき館事業

中央公民館泊分館のトレーニングルームを活用し、町民の健康増進、運動習慣の定着を図る（関連記事は8、12ページ）。

3332万円



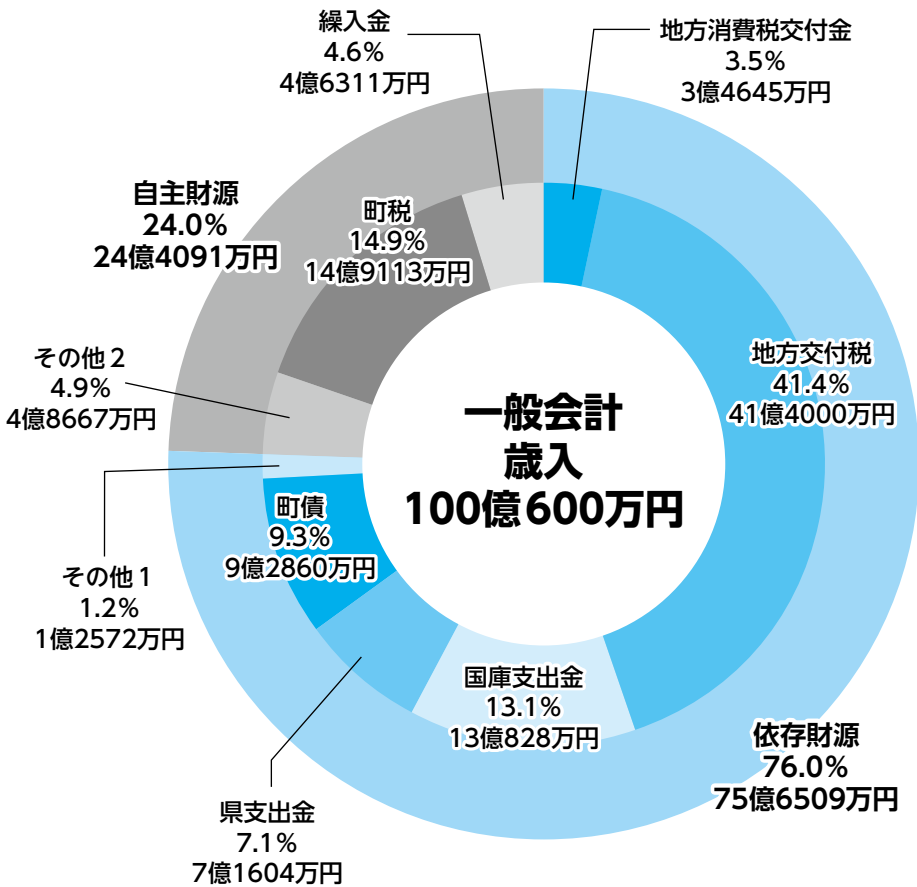
ICT教育推進事業

ICT支援員の増員及びICT機器サポート運営支援など、すべての教員や児童生徒がICTを活用できる体制を一層充実させる。

1288万円

着手 新長江団地(仮称)建設へ

令和4年度一般会計当初予算は、総額100億600万円、前年度と比較して1900万円の減額となっている。



歳入

歳入では、町税が固定資産税や町税が増えたことにより、昨年度より6873万円増加した。
しかし、歳入総額の4分の3は地方交付税などの依存財源であり、厳しい歳入状況に変わりにない。
今後も積極的な財政健全化への取り組みが求められる。

用語説明

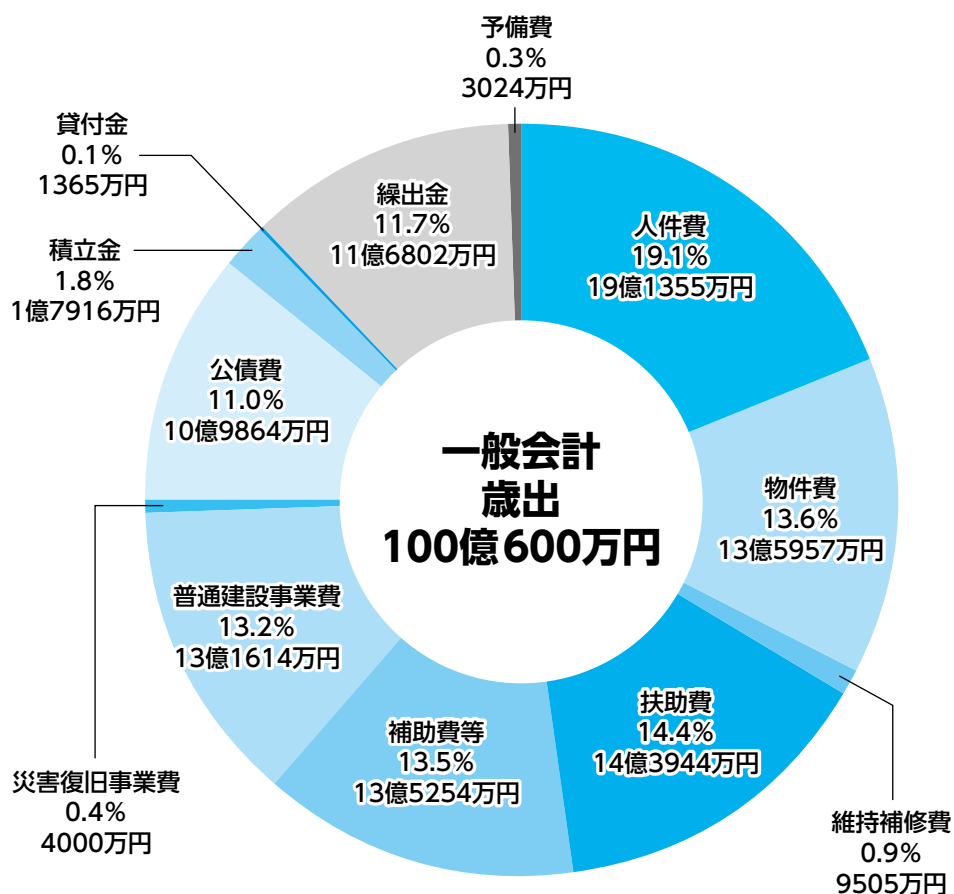
- 自主財源 町に皆さんが納めるお金
- 依存財源 国や県から配分されるお金
- 繰入金 貯金を取り崩して、支払いにあてるお金
- 国庫支出金 国から使いみちが決められたお金

町税予算額の前年度比較

町税	税目	令和4年度	前年度比
	固定資産税	6億5533万円	2827万円
	個人町民税	6億999万円	2063万円
	法人町民税	4175万円	511万円
	その他	1億8406万円	1472万円
合計		14億9113万円	6873万円

令和4年度 一般会計予算

町営住宅建て替え



歳出

歳出では、新長江団地の建設や東郷中学校解体工事など継続事業が多い。また、新型コロナウイルス関連事業も引き続き行われる。新規事業の数は少ないものの、新町川雨水ポンプ場建設、放課後児童クラブの委託、米価下落対策給付金、証明書のコンビニ交付など町民に欠かせない事業となっている。

厳しい財政状況の中、事業選択に苦慮した支出配分となっている。

主な特別会計予算

会 計 名	令 和 4 年 度		前 年 度 比
国民健康保険事業	20億2700万円		1億6336万円
後期高齢者医療	2億2591万円		3427万円
介護保険	21億1306万円		1億4047万円
温泉事業	778万円		▲103万円
下水道事業	9億4949万円		－ 万円
国民宿舎事業	事業収益	2億9583万円	7513万円
	事業費用	3億 518万円	4870万円
水道事業	事業収益	2億5122万円	▲878万円
	事業費用	2億3107万円	▲32万円

用語説明

■物件費

賃金、旅費、委託料、交際費などの消費的経費

■扶助費

福祉手当、児童手当などの経費

■繰出金

特別会計に支出されるお金

■公債費

町の借金返済に使うお金

令和4年度予算特別委員会

令和4年度一般会計及び各特別会計・企業会計の当初予算を、予算特別委員会を設置し、審議しました。

数多くの質疑がありましたので、その中の一部をお知らせします。

健全財政運営と基金の関係は

☆健全財政運営であるが、実態は厳しい運営が続く。財調基金等の取り崩しは、慎重な判断になる。

問 事業規模と財政調整基金等の適正基準判断の目安は。

答 本町は、一般財源、自主財源が弱く財政力指数が低い。20億程度の財調基金は、必要と判断している。減債基金も決算状況判断して積み増し、適宜、公債費繰り上げ償還に充当する。

問

ふるさと振興まちづくり基金の運用については。

答

予算ベースでは財調基金の充当で組んでいる。当基金は本庁舎改修等に充当することを視野に入れながら判断することになる。

問

事業増加と基金残高減少の中での財政運営は。

答

有利な国庫補助金事業等を探し、起債運用した財政運用となる。住民要望事業は多岐にわたるが、慎重に基金を使いながらの財政運営になる。

防災力の強化

☆地域防災力の強化事業の一環として、津波ハザードマップの作成や防災士養成研修への補助が行われる。

問

今回の津波ハザードマップ作成の目的は。

答

町が実施する防災総合訓練の中でも意識して強化していく。

問

本町の防災士の総人数と女性防災士の人数は。

答

総数36名、うち女性2名。

答

改めて見やすい図面を作成し、広報していくため。

問

マップ作成だけでなく、実際の訓練への反映が肝要だと思うがどうか。



水陸両用バギーを活用した防災士養成研修

農家の被害にも注目を

問 イノシシよりシカの捕獲支給金が高いのは何故か。

答

シカによる森林被害が広がっている。シカの捕獲数が少ないため、単価を上げた。

問

農家が多く被害を受けているイノシシも、シカと同等に支給して欲しい。

答

国の制度上、支給額が違う。ご理解いただきたい。

問

被害の状況が、捕獲数では分かりづらい。農産物の被害面積・額などで示したらどうか。

答

農協、森林組合などから情報収集をしてみたい。



イノシシ被害を受けた農道法面(宇野)

米農家の収入減を支援

問 30キロ220円掛ける令和3年の

出荷量となっているが、根拠は。

答 収入保険で補填するのは価格の

81%になり、対象外部分が19%になる。それで計算して220円という単価を出した。

問 収入保険は水稻を作っている人は

すべて入っているのか。米の種類によって単価に差が出ると思うが、それは関係ないのか。

答 収入保険は青色申告が条件であ

り、米農家の10%程度が入っている。色々と参考にしながら収入保険対象外部分の支援をする。収入保険の加入率が低いという認識がなかつ

た。損失補償の意味と次の生産に向けた必要経費に充てるという考え方で、新年度に制度設計をして、多少増額したい。

福祉ニーズにワンストップで対応

☆ひきこもりなど多様化、複雑化している福祉ニーズに対応するため、関係機関のコーディネートを行う推進員の配置を町社会福祉協議会に委託し、ワンストップで支援する。

問 相談件数はどのくらいあり、相談者の評価はどうか。

答 令和3年度は23件あった。すぐに

効果が現れるものではなく相談者の評価は難しいが、多機関が連携できる場所ができたことで、課題解決しやすくなったと思う。

問 来所できない人や、相談窓口があることを知らない人がいるのではないのか。どのようにして周知しているのか。

や、相談窓口があることを知らない人がいるのではないのか。どのようにして周知しているのか。

答 潜在的には相談したい人がもつと

いると考えており、チラシ配布や各戸訪問などを検討している。

問 支援が必要な人を社会全体で支える体制に整備するとあるが、どのような体制にするのか。

支援が必要なのは、社会全体で支える体制に整備するとあるが、どのような体制にするのか。

答 役場、社協、社会福祉法人、民間団体、地域など色々な分野が重層的に係わって課題解決を図っていく。

医療的ケア児の入学

☆令和4年度から医療的ケア児が入学予定であるため、看護師などの必要経費を新規に計上。

問 看護師の勤務計画はどのようなものか。

看護師の勤務計画はどのようなものか。

答 看護師2名と代替看護師1名を雇用する予定。週4日勤務で常時2名が教室にいる計画でいる。

問 医療的ケア児の学校での学びをどのように行っていくのか。

医療的ケア児の学校での学びをどのように行っていくのか。

答 最初は週に1時間くらい交流学級と交流する予定。本人や周囲の児童の学習内容を確認し、医療関係者に相



整備された特別支援学級

談しながら、徐々に広げていく。

問 インクルーシブ教育が進んでいくと自治体が負担する経費も増えるように思う。国からの補助は十分か。

インクルーシブ教育が進んでいくと自治体が負担する経費も増えるように思う。国からの補助は十分か。

答 「切れ目のない支援体制整備充実補助金」は、補助率が3分の1である。補助率のかさ上げを国に要望していく。

最初は週に1時間くらい交流学級と交流する予定。本人や周囲の児童の学習内容を確認し、医療関係者に相

補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ4億1643万円を減額し、補正後の予算の総額を111億8030万円とする。

ふるさと納税 寄付金落ち込み

・ふるさと湯梨浜応援基金事業
▲5112万円

昨年度に比べ、梨を返礼品とした寄付が落ち込んだため、寄付金額が当初の1億7000万円から1億3870万円になると見込まれるため、減額補正する。

7月7日 豪雨被害の復旧

☆営農意欲の減退防止や農地の維持を図るため、速やかな復旧が必要。査定額が決定したので、追加計上するもの。

・農業用施設災害復旧事業
2500万円

7月7日から8日にかけての豪雨により被災した農道などの農業用施設について、迅速な施設復旧を実施するもの。



崩落した道路（宇野）

・農地災害復旧事業

1300万円
7月7日から8日に

かけての豪雨により被災した農地について、迅速な復旧を実施するもの。

利用者伸びず 減額補正

・高齢者タクシー助成事業
▲598万円

運転免許を持たない70歳以上の高齢者を対象に、タクシー料金の助成をした。当初見込に達しないため減額補正する。

水明荘に 貸し付け

新型コロナウイルス感染症の影響により資金不足が懸念される。運転資金として、3000万円以内で長期の貸し付けを行う。なお、償還方法及び貸付金利は、水明荘の会計状況や市場金利を勘案して設定する。

条例 制定・改正

消防団員の報酬 を改善

☆湯梨浜町消防団員の定員、任免、給与、職務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の、年額報酬及び出勤報酬を改定する。団員の年額報酬を3万6500円、災害の場合の出勤報酬を1日につき8千円と定めた。

管理運営基準を 制定

☆湯梨浜みんなのげんき館の設置及び管理に関する条例

健康教室の開催、トレーニング指導といった、げんき館に関する業務内容の他、休

館日、利用時間、使用料などを定める。

☆湯梨浜町トウティランの里の設置及び管理に関する条例

集会等の催しのため、トウティランの里の全部又は一部を独占して利用する場合などの利用許可や禁止行為などを定める。



整備中のトウティランの里

人事案件

☆副町長の人事案件に同意。（敬称略）

◇副町長

吉川 寿明（南谷）
任期は、令和4年4

月1日から令和7年3月31日まで。

その他

☆広報コンクールで最優秀写真賞に輝く

議会だより第68号が、鳥取県町村議連会が主催する「第29回（令和3年度）鳥取県町村議会広報コンクール審査会」において、部門賞の最優秀写真賞に選ばれました。
表紙の写真について「コロナ禍でマスクばかりが目立つ中、運動会と明るい笑顔で元気な表紙になりました」と審査講評をいただきました。



表彰状と受賞した68号

本会議での採決結果

3月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対など)	松岡	米田	光井	寺地	河田	磯江	小川	中森	入江	増井	信原	結果
議案第3号 令和4年度湯梨浜町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	賛成9人 可決

※議案の採決は、浜中議長を除く11人で行います。

※上記以外の町長提出議案は全会一致で可決及び同意しました。

当初予算討論

羽合小学校運営経費、放課後児童クラブの民間委託について討論がありました。

反対 信原 和裕

医療的ケア児の9月時点での受け入れ方針決定は、いつ誰がしたのか不明。就学指導委員会の検討結果の報告もない。特別支援学級や病院内学級という選択肢はなかったのか。最悪の状態になる可能性もあり、そうなった場合の責任は誰がとるのか、あいまいである。予算の説明が分かりにくく、この件だけで年間いくらかかるのか分からない。多額の費用がかかるといった誤解を生んでしまう可能性がある。

賛成 中森圭二郎

医療的ケア児支援法の趣旨に沿って、議会では、児童が安心して通学し、学べる環境を整える方法を考えるべきだ。当初予算は、その環境整備のために必要だ。予算が高額という指摘もあったが、医療的ケア児と家族への適切な支援を実践するためには、確かに国の補助は少ない。これは、国の制度設計の問題である。議会は予算に反対するのではなく、支援継続のための財源確保を、国に要望するべきだ。

反対 増井 久美

放課後児童クラブの民間委託には反対なので、予算案には反対する。医療的ケア児入学の問題は、子どもの命にかかる大変な事案だと思う。この予算を通す以上は、行政も議会も覚悟をもって取り組まなければならない。

賛成 光井 哲治

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が、令和3年6月に公布。この法律の趣旨は児童、両親がどこで学びたいかが優先されることになる。

今回のケースは、羽合小学校を選択されたもので、自治体は法にしたがって整備するものである。このことを問題視し反対することは、町民に誤解を招くメッセージを発信することになるのではないかと。

陳 情 審 査 結 果

件 名	陳情者名	採決結果
陳情書等の電子的提出について(陳情)	足羽 佑太	採 択 全会一致
銀行業務におけるユニバーサルサービスと利用者の利便性の維持に係る意見書の提出について(陳情)	足羽 佑太	採 択 全会一致 (国に意見書を送付)
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	継続審査

新・梨団地開発へ

☆令和2年度に整備された松崎駅南梨生産団地整備事業に続き、北福・漆原地区で2ヘクタールの今滝梨生産団地（仮）の開発が報告された。

問 当初、松崎駅南梨団地周辺をさらに造成開発することではなかったか。

答 松崎駅南団地と同程度の開発なので、入植者も8名を想定している。

問 いろいろな候補地はあったが、地元関係者が積極的に動かれ、まとまった面積が確保された。

答 松崎駅南団地は、有利な補助事業で実施されたが、今度の開発はどうか。

問 入植者の数はどれくらいか。

答 中間管理事業を通すことで、国庫補助事業により、受益者5%という事業を想定している。



今滝梨生産団地予定地

問 入植するにはどんな条件があるか。

答 事業が、貸借を20年以上とした条件のため、継続できる人を選考している。

新・長江団地着工へ

☆町営住宅建替事業の進捗状況で、新・長江団地の着工、令和4年12月の完成が報告された。

問 既存の入居者の希望状況と、家賃の変更はどうか。

答 事前アンケートの結果、松崎地区から離れたくない人や家賃が高くなれば既存の団地に移りたいとの希望が2人程度ある。家賃は段階的に上げていく。

問 高齢の入居者の中には、家賃のこつとや入居時期について十分に伝わっていないのではないか。

答 業者からも、丁寧に説明すると聞いてはいるが、町も業者まかせにせずに間に立っていく。

問 事業費が当初より3億円程度増額しているが。

答 建設費等を精査した結果であり、経費も材料費も高騰している。

新電力会社への出資は見送り

☆中部の新電力会社「鳥取みらい電力」が本年2月に設立。電気の供給は、夏から秋頃の予定。
安定的で持続可能な経営が行えるかが懸念

され、町の参画は現時点では判断できない。

問 今後、町として出資等の参画について、どう判断しているのか。

答 慎重に検証して、判断していく。

問 出資しないと、町は新電力会社からの電力購入はできないのか。

答 入札という形で購入は可能。

問 町としての脱炭素社会への考え方はどうか。

答 積極的に取り組むべきだと考えている。

新・地域おこし協力隊着任（果樹生産振興担当）

☆果樹生産振興担当の地域おこし協力隊として1名が、4月に着任する。

問 町内に居住し、町内の農家の農作業を手伝いながら二十世紀梨の栽培技術を学んでいく。

問 協力隊としての活動時間を超過して作業した場合の収入はどうか。

答 自主的な活動として農家での作業で賃金をもらうのは可能。

問 協力隊となる方の、SNS発信でのPRや、果樹栽培、定住への考えはどうか。

答 任期の間に果樹栽培のスキルを身につけ、情報発信も行う内容で募集した。将来的な部分については活動しながら考えていく。

保育士不足が深刻

☆令和4年度の入園申し込みを受け調整を行ったが、特に羽合地区で入園希望が多く、調整に苦慮している。調整の結果、入園が決定していない幼児が26名いる。

問 第一希望入園と入園調整はそれぞれ何人か。

答 入園希望者167人のうち、115人が第一希望で入園。羽合地域園44人、東郷地域園6人、泊地域園2人の52人の入園調整が行われた。そのうち26人が入園が決定していない。



楽しく遊ぶ子どもたち
(まつざきこども園)

問 町内園の利用定員は830人だが令和3年度の町内施設入園者は696人と少ない。なぜ入園調整が必要か。

答 0、1、2歳児が増えており、保育士不足が深刻である。保育士確保ができれば、830人の入園が可能であり、調整も減少できる。

債権回収を断念

☆障がい者住宅整備資金貸付け1件について、金銭消費貸付証書、貸付台帳の原本を町が紛失したことが分かり、債権回収を断念し、不納欠損処分とした。

問 重大な事案である。管理はどうなっていたか。

答 恐らく紛失は、合併時ではないか。その後も調査したが、見つからず旧東郷町時代の管理体制の不備としか言えない。

私債権であり、県債権回収専門員、弁護士と相談し、不納欠損処分とした。

問 役場の体質、体制が問われる問題である。他の課の貸付案件の状況は確認済みか。

答 他の課での貸付案件についても注意喚起を促したい。

放課後児童クラブ委託業者が決まる

☆放課後児童クラブを「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」（本社東京）と委託契約。



羽合第2放課後児童クラブで楽しくすごす子どもたち

問 開園までタイトなスケジュールであるが、配慮が必要なのは、どのような点か。

答 民間事業者に変わっても従来通りこども園に、子どもたちの保育状況など、聞き取りを行う。

問 クラブ運営の状況が分かるようにしてほしい。

答 統括責任者と絶えずコンタクトをとる。また、支援員からの意見が子育て支援課に届くよう体制整備を行う。

議会が注目！

ピックアップ事業

放課後児童クラブを 民間委託

昨年12月の議会において、放課後児童クラブを民間委託するための債務負担行為を可決した。しかし、その後も支援員の待遇を引き下げないこと、全員雇用することなどが議員の中で出され、町はそれらも委託契約の条件として「湯梨浜町放課後児童クラブ運営義務」委託契約書（案）を作成し、プロポーザルに出した。

2社応募があったが、現在も放課後児童クラブを運営し、実績がある点などを考慮し、左記の会社に業務委託するという決定に同意した。また「運営業務委託書」に基づいて、実施することを強く要望した。

また、令和4年度予算も承認され、令和4年度分の放課後児童クラブ委託事業として、5486万円も確定した。

■委託業者：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

■委託金額：1億6458万円（債務負担行為）

（年割 5486万円×3年間）

■委託期間：令和4年4月1日から令和7年3月31日

湯梨浜町中央公民館泊分館を視察 新たなにぎわい創出を期待

☆令和4年4月7日、改築工事が完了した湯梨浜町中央公民館泊分館を視察した。

このたび、令和3年度より進められていた湯梨浜町中央公民館泊分館の改築工事が完了した。町議会として、完成した泊分館を視察し、担当課から施設についての説明を受けた。

暖かな光が差し込むガラス張りで開放的な吹き抜けのロビーには、イスとテーブルが複数設置され、ゆっくりとくつろげる空間となっている。キッズコーナーも設けられており、子ども連れでも安心して利用ができる。ロビーの一面にはギャラリーとして使用できるスペースも用意されている。

その他、二階建ての館内には会議室・調理実習室・和室・ランドピアノも設置されていて音楽演奏も可能な多目的室・最大約60名程度で利用できる研修室やトイレなどがある。これまでの利用が可能な施設へと生まれ変わった。

館内には「みんなのげんき館」として有料のトレーニングルームが新設され、町民の健康づくりの新たな拠点としても注目される。



バイオマス発電の視察

☆令和3年12月14日、宍道湖流域下水道東部浄化センターを視察した。

鳥取県では、天神川流域下水道の下水汚泥を有効活用するバイオマス発電事業を検討している。町議会として、バイオマス発電についての研修を企画した。

鳥根県で先駆けて行われている消化ガス発電事業を見学し、事業者から説明を受けた。



議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。

議会の日程は、広報ゆりはま、防災行政無線放送、町ホームページでお知らせします。

3月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

質問者	質問事項	ページ
中森圭二郎	少人数学級のための教室確保は	13
松岡 昭博	現状の人口動向で目標人口を確保できるのか	14
	過疎地域をどう誘導するのか	
米田 強美	脱炭素社会、先行地域の再考を	15
	空き家対策の進展は	
信原 和裕	放課後児童クラブの民営化は本当に大丈夫か	16
増井 久美	自治体におけるジェンダー平等は	16
入江 誠	BCPの策定が必要では	17

少人数学級のための教室確保は

教育長

増えることを前提に実施設計を 予算化



なかもり けいじろう
中森 圭二郎



増築が検討されている羽合小学校

【問】①特別支援学級、そして令和4年度から始まる少人数学級は教育環境を整備する重要な事業である。一方で、町内の小学校の教室に余裕がないように思うが、教室は確保できるのか教育長に問う。

【教育長】①羽合小学校で令和6、7年度に1、2年生が4学級に増えると想定している。教室数が不足するため、令和5年度の校舎増築を予定し、来年度に増築に伴う実施設計を予算計上した。東郷、泊小学校では確保できている。

【町長】②本町は、30人以下の児童数できめ細かい教育をめざしている。県の説明を受け、仮に30数人の学級を編成する場合は、教員を1名増員する方法もあり、関係機関の意向をふまえて協議しながら検討する。

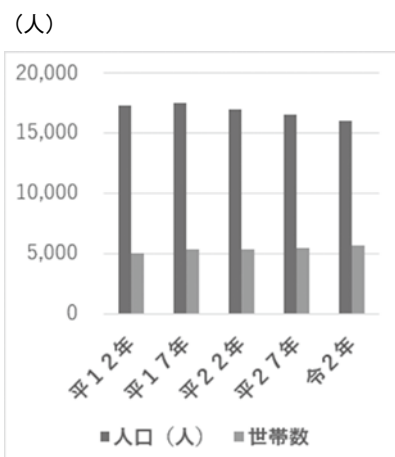
現状の人口動向で目標人口を確保できるのか

町長

努力を続ければ達成できる



まつおか あきひろ
松岡 昭博



湯梨浜町の人口推移

【問】町は、合計特殊出生率の向上や社会増減の均衡を実現すれば、2060年に1万2000人の人口を確保できると推計している。

① 合計特殊出生率1.8パーセント台、社会増減25人減という状態で、目標人口が達成できるのか。

② 女性の子育てと仕事の両立支援の観点から、どのような対策を行い、その成果をどのように考えているのか。

③ 県内の産業基盤は弱く、どのようにして若者の県外流出を抑制したり、IJUターンを推進するのか。

【町長】① 合計特殊出生率は、総合戦略で取り組んでからは平均1.97、その前5年間は1.84。社会増減は、直近の令和3年ではプラス21人。今後も努力をすれば達成できると思う。

② 「町子ども子育て支援事業計画」に基づき、保護者の多様な働き方に対応し、育児支援など幅広く取り組んでいる。企業や社会とその方向性を共に進める必要がある。

③ 基本は湯梨浜町の良さ、魅力を発展させ、将来も住み続けたいと思える町を創っていくこと。充実した移住定住施策、ワークライフバランスなど力を入れていきたい。

過疎地域をどう誘導するのか

町長

新たな計画策定を通じて検討していく

【問】現在、泊地域が過疎地域に指定されており、4月に東郷地域が追加指定される。また、昨年の県山間集落調査によれば、人口の減少や高齢化が急速に進んでいる。

① 本町には集落機能の維持が困難な集落がどのくらいあり、町は現在どのように対応し、今後どのように誘導しようとしているのか。

② 過疎からの脱却、中山間地域の活性化をめざし、モデル的に地区を選定し、リーダー育成や地域の課題解決に向け検討してはどうか。

【町長】① 一般的に「限界集落」と呼ばれる集落は、羽合地域に1、泊地域に2、東郷地域に5集落ある。

現在、過疎地域持続的発展計画に基づき、東郷地域を加えた素案作りに着手している。

3月下旬には、区長へのアンケートを実施し、

その後に集落に出向き意見交換会を予定している。

羽合の中山間地域も同様に配慮しながら進める。

② 新たな計画策定の中で、十分検討をしていきたい。そのような取組みができればと思っている。



過疎地域に指定される東郷地域

脱炭素社会、 先行地域の再考を

町長

住宅用補助の充実・各課横断的な取り組みで



よねだ つよみ
米田 強美



駐車場屋根を利用した太陽光発電
(泊小学校)

【問】①「脱炭素先行地域」には特化した発電素材がなく、先行モデルにはなり得ないとの答弁であった。本町の太陽光発電は、旧泊村時代から推進してきた。

また、温泉熱発電は中国地方唯一で、湯量にも余裕がある。規模拡大をどう考えるか。

②脱炭素は、地域の成長戦略や課題解決、地方創生の取り組みに期待される。

【町長】①発電素材の掘り起こしに関しては、これまでの住宅用太陽光発電や燃料電池システムへの補助に加え、蓄電池設置への補助も始めたい。温泉熱発電の規模拡大は、湯量などの関係でかなり難しいと考える。

②脱炭素社会の実現は、世界規模・全国レベルの問題。先進地の事例などを参考に国・県・他市町村と協働し、町の実行計画を策定して、各課横断的・重層的に取り組んでいきたい。

【問】①「空き家対策特別措置法」が、昨年に基本方針とガイドラインの改正があった。これに伴い、特定空き家（危険・有害等の空き家）の認定増加と、対策に進展はあったのか。

②「指導」では進展が望めない特定空き家には、「勧告」に踏み切る必要があるのでは。

③旧ふじつ荘について、進展はあったのか。

SDGsの「美しい景観の保全」の取り組みでの後押しはできないか。

また、老朽家屋の建て替えの際、解体工事に補助はできないか。

町長

空き家対策の進展は 空き家対策は個別の 判断・対応で



解体が望まれる特定空き家

【町長】①国が基本方針やガイドラインを改定したが、その基準でも本町の特定空き家の87件は変わらない。司法書士などの協力も得て、取り組みを進めていく。

②特定空き家へは文書・電話・訪問などで指導しているが、勧告は限定的・例外的と考えるべき。

状況によっては、命令、行政代執行もあるが、総合的に判断して対応する。

③旧ふじつ荘の建物は、所有者や事業化想定業者との面談結果などをふまえて対応する。

SDGsの取り組みは、今後研究していく。

一般老朽家屋の解体費助成制度は、現在のところ考えていない。

※このほか、「東郷地域の過疎対策」も質問しました。

放課後児童クラブの民営化は

町長

事業者は、事業実績などで優れていると判断



のぶはら 信原 かずひろ 和裕



泊放課後児童クラブですぐすこどもたち

【問】昨年12月議会で急ぎ可決された放課後児童クラブの民営化について、改めて問う。

①児童クラブ支援員の処遇の現状と、業務委託仕様書に大きな差がある。賃金などの改善に取り組んでこなかったのか。

②小学校には児童クラブのほか、子ども教室や自主学習の広場もある。その連携は。

③業務委託仕様書では、現場も担当課も今以上に業務が増えるが、こなせるのか。

④3年後の契約終了時、町直営に戻す選択肢はないか。

【町長】①令和2年度からの会計年度任用制度により処遇改善されてきた。

②学校との連携、地域・関係機関などとの連携という項目の中に含まれている。

③委託後は統括責任者が配置される。支援員の事務的な負担は増加せず、職員も増やす必要はないと考えている。

④3年間の業務実績、評価などを参考にして、その後の対応について判断する。

【教育長】②日ごろから連携をはかりながら進めている。今後ともこれまでと同様に連携していく。

自治体におけるジェンダー平等は

町長

町が先導的役割を果たしていく



ますみ 久美 増井

【問】本年1月、県内で初めて女性町長が誕生した。また、SDGsの中にジェンダー平等を実現しようと書かれている。各自治体の公務員の在り方が、まず問われると思う。次の点について問う。

①本町の公務員の課長以上の女性の比率、各種審議会・委員会などの女性の比率はどうなっているのか。

②会計年度任用職員の数と、その中での男女の比率はどうなっているか。

③町として、ジェンダー平等をどう進めていくのか。



政策決定の場に女性の参画を

【町長】①管理職の女性が占める率は、令和3年4月1日時点で29.0%。管理職31人のうち女性が9人、男性が22人という状況。

委員会における女性委員の割合は、22.7%。審議会では、29.7%であり、男女いずれか一方の委員数が、10分の3を下回ることのないよう規定している。

②会計年度任用職員は121人。そのうち、女性職員は97人で80.2%。男性職員は、24人で、19.8%。

③ジェンダー平等については、町が先導的な役割を果たしていく。

BCPの策定が必要では

町長

再点検を行なう



いりえ まこと
入江 誠



避難所設営訓練の様子

【問】① 地方公共団体は、災害対応について昭和6年に制定された災害対策基本法に基づいて地域防災計画を策定してきた。地方公共団体が被災し、庁舎・職員・電力・情報システム通信などの資源が制約される場合、業務遂行体制をあらかじめ整えた事業継続計画（BCP）の策定が必要だと考えるが、町長の考え方を問う。

【町長】① 役場庁舎は防災無線室を2階に移設し、電源設備の嵩上げも行った。自家発電も確保している。庁舎が機能不能の時は、ハワイアロハホールで対応できる。人員体制は、国や県の災害支援派遣制度がある。事業継続計画（BCP）は策定しているが、不十分であり、各所属で再点検をする。

② 団員の士気向上と確保をはかるため、報酬などの引上げを行い、引き続き声掛けをしていく。防災士は現在36人となり、各集落に1名は育成していきたい。

議会からのお知らせ

ロシアによるウクライナ侵略を 非難する決議を可決

湯梨浜町議会は、令和4年第3回（3月）湯梨浜町議会定例会において議員提出議案「ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議」を提出し、3月17日に全会一致で可決した。

本決議は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かすロシアによるウクライナへの軍事侵略に対して断固抗議し、決議をもって、湯梨浜町議会の意思を表明するもの。

議会にタブレット端末と マイクを導入

新型コロナウイルス感染予防のため、議場のマイクを一人一台となるように機器を更新した。

また、タブレット端末を各議員に配備し、災害時などに自宅などから会議や委員会に参加できる環境を整えた。

今後、定例会・臨時会において、従来の紙資料と並行しながらタブレット端末を活用し、最終的には議会資料の完全デジタル化を進めていく。



新しくなったマイク設備



タブレット端末で資料を確認

米農家への所得の補てん

問 米農家への所得の補てんをどう考えるか。

答 コロナ禍で米価下落の影響で収入減となった水稲農家の生産意欲の維持を図るために、生産者に前年との差額分の一部を支援する方策を検討しています。

補助金を伴う民間、公共団体の廃止、統合

問 補助金を伴う民間、公共団体の廃止、統合をしてはどうか。

答 補助金の効果については、毎年度評価され、その結果が補助を受けている団体の存続にも関わってくるところもあります。廃止や統合される場合も出てきています。

コロナ禍での地域活動

問 コロナ禍での地域活動において、参加意欲が薄れてくることを危惧している。良い事例があれば教えてほしい。

答 ウィズコロナ下での地域活動の参考資料として「湯梨浜町新しい地域活動スタイル」等を昨年配布しています。また、町ホームページにも掲載していますので、参考にしてください。

上浅津地区冠水対策

問 上浅津地区冠水対策について、早い対応を願う。

答 国の補助金を利用した排水対策事業として上浅津堂ノ本線の、かさ上げ工事のための測量設計業務を計画しています。

小学校の通学路

問 通学路の白線が薄くなっており、引き直してほしい。

答 関係機関に要望します。他に白線の分りにくい所があれば、学校に連絡してください。

通学路の除雪

問 子どもたちの通学路も早期に除雪してほしい。

答 一部の区間をシルバー人材センターに依頼しているが、対象範囲が広いため、地域や保護者などにもご協力をお願いしています。

なお、各学校に除雪機を配備しているので活用してください。

ごみの分別

問 4月から有害ごみの分別が始まり、ごみ分別が複雑になる。業者と行政が各自治会に出向いて説明してほしい。

答 各区の要望に応じて、ごみの分別や環境問題の出前講座を実施しています。今後も、これらのことについて啓発していきます。

公民館体制の充実

問 公民館は、文化教養を高めたり地域課題を解決していく場所である。欠員となっている羽合分館職員の補充をしてほしい。

答 ICTによる各種電子申請手続きについて、鳥取県と県内市町村で共同開発した「とっとり電子申請システム」を活用します。

小学校の整備

問 各小学校で修繕の必要な所がたくさん出てきている。早急に点検し、修繕をしてほしい。

答 児童生徒が安全に過ごせるよう、計画的な修繕や緊急対応による修繕を行っていきます。

住民から寄せられた 「行政、議会に対するご意見、ご提案」について

「令和3年度住民と議会の意見交換会」は、新型コロナウイルス感染症対策の為中止といたしました。

意見交換会の開催時にご案内をしておりました、町内の各団体、区長、PTAや保護者会等の関係の方に「行政、議会に対するご意見、ご提案」を本年度はアンケートの形で依頼しました。

返信いただいたアンケートの提言やご意見の内容を取りまとめ、所管委員会において協議を行い、行政の担当部局等に回答を頂いた一部をご紹介します。

燕趙園の狛犬

問 燕趙園の狛犬をきれいにしてほしい。

答 洗浄を2月中に実施済みです。

防風林の雑木処理

問 防風林の雑木処理は、県が管理処置すべきではないか。

答 原則、所有者の管理であるため、町としては、令和4年度に向けて自治会、個人を対象とした「保安林危険木伐採補助制度」を検討しているところです。

地域団体への活動助成金

問 コロナ禍で絶たれてしまった住民同士の交流を取り戻すべく、地域団体への活動助成金を増やしていただきたい。

答 各地区が抱えている課題の把握・検証を改めて行い、その結果を踏まえて検討いたします。

新しい移動手段を

問 新しくて便利な移動手段として、電動キックボードなど検討してみては。

答 道交法の改正案が来年度の通常国会に提出されるので、町としても国の動向を注視していきたいと考えています。

中部地域新電力事業

問 中部新電力事業での電気代はどうか。

答 現状より安価となることが望ましいと考えますが、中核事業者がどのような事業を展開するのか状況を、注視しています。

温泉を使った電力

問 新しい電力として、湯梨浜町は温泉が豊富なので、温泉を使った電力はできないものではないでしょうか。

答 東郷地域で、平成27年度から民間事業者による温泉熱を活用した地熱発電所が開設されています。

電子申請手続きの推進

問 申請を簡素化するためにICT化を進めていただきたい。

答 ICTによる各種電子申請手続きについて、鳥取県と県内市町村で共同開発した「とっとり電子申請システム」を活用します。

あさひこども園近くの災害復旧

問 あさひこども園近くの土砂崩れの早期復旧をしていただきたい。

答 令和4年梅雨時期まで調査を続けることとし、それ以降に地滑り災害査定を受け、復旧していきたいと考えています。

町民インタビュー

『宇野地蔵ダキ』と 『宇野三ツ星盆踊り』と共に

河原 孝徳 さん（宇野）



京都（住まい）・大阪（勤務先）からUターンして13年目あつという間です。部屋からは目の前に日本海です。これからの季節は太陽が海に沈み美しい夕映えがみられます。

さて、がんばっていることを二つ紹介します。

がんばり①「平成の名水百選宇野地蔵ダキ」について

山の崖下から流れ出る湧水。水源は10km南にある三徳山からも長い年月をかけて湧き出すと言われていて、そばにある巨岩には鳥取の長瀬弥兵衛が元禄2年（1689）5月13日に建立したと刻字されています。おいしい水の要件の一つに体温より平均25℃程度水温の低い水が最適とされ、清涼感や水場の環境なども大きく影響されます。ダキの水は15℃位で不快なにおいもなくうまさを感じます。

400年以前から自然の恵みの湧水で、先祖伝来の地域の宝であり誇りとして、この名水をこれからも守り続けていきたいと思います。

がんばり②「町指定無形民俗文化財宇野三ツ星盆踊り」について

平成24年に保存会結成40周年・町指定無形民俗文化財25周年を記念して「踊り方」のDVDと解説小冊子を製作してこの芸能の保存・伝承活動を会員の皆さんと続けてきました。

昨年夏に文化庁助成事業「後世に残すべき詳細な映像記録作成（伝統芸能の手引き映像制

作）」と「継承促進のための撮影動画映像の配信」の文化財として選定され、手元保存データを選別して制作会社に提供できました。踊り方、太鼓のたたき方、唄い方、衣装、着付け、おけさ笠の作り方等、細部にわたり提供し、動きのあるものはDVD、資料で残すものはCDとして製作できました。その成果もあって、今ではYouTube動画配信されています。地元で生活されている方、古郷を離れている方、その家族（子供さんお孫さん方）の皆様がいつでもどこにいてもパソコン、スマートフォンで古郷の盆踊りが視聴でき、又思い出を蘇らせることができます。

保存会結成50周年・町指定無形民俗文化財35周年を過ぎましたが、YouTube動画を更にPRするためにも、記念行事開催に向けて頑張りたいと思っています。

「手引き映像」動画検索は下記のとおり

プロデュース・ハレ YouTube

🔍 検索



編集後記

原油や原材料料費の高騰で、値上げラッシュ。無駄はないか、まずは足元を見つめたい。

ところで、アナログ放送が終了した時点で、ケーブルテレビではセツトトップボックスを設置しないと、衛星放送が視聴できなくなっています。NHKの受信契約を、衛星から地上契約に変更しないと、余分なお金を支払うことになりますので、確認をしてください。

【問い合わせ】NHKふれあいセンター

（電話0570-0771077）

（記 米田）

【編集】

議会広報常任委員会